

## 第4回理事会(臨時) 議事概要

1 開催日時 令和6年9月10日(火) 15時00分～17時00分

2 開催場所 Japan Sport Olympic Square 14階 岸清一メモリアルルーム(東京都・新宿区)  
次の役員は、自宅や職場、出張先からWeb会議システム(インターネット回線を使用した音声と映像を伝達するシステム)により参加すると同時に適時的確な意見表明が互いのできる状態となっていることを確認した。

|         |          |       |
|---------|----------|-------|
| 荒木 絵里香  | 太田 雄貴    | 鈴木 大地 |
| 谷本 歩実   | 土肥 美智子   | 服部 道子 |
| (鶴岡 歩実) | (田嶋 美智子) |       |
| 松田 丈志   | 渡邊 守成    | 寺田 昌弘 |
| 塗師 純子   |          |       |

3 出席者 理事総数 30名

出席理事 26名

|      |                    |      |                    |
|------|--------------------|------|--------------------|
| 副会長  | 三屋 裕子              | 副会長  | 酒井 邦彦              |
| 副会長  | 横井 裕               | 専務理事 | 尾縣 貢               |
| 常務理事 | 北野 貴裕              | 常務理事 | 小谷 実可子<br>(杉浦 実可子) |
| 常務理事 | 星 香里               |      |                    |
| 理事   | 荒木 絵里香             | 理事   | 伊東 秀仁              |
| 理事   | 岩渕 健輔              | 理事   | 遠藤 利明              |
| 理事   | 太田 雄貴              | 理事   | 岡本 友章              |
| 理事   | 杉山 文野              | 理事   | 鈴木 大地              |
| 理事   | 須藤 実和              | 理事   | 谷本 歩実<br>(鶴岡 歩実)   |
| 理事   | 土肥 美智子<br>(田嶋 美智子) | 理事   | 原田 雅彦              |
| 理事   | 服部 道子              | 理事   | 古谷 利彦              |
| 理事   | 松田 丈志              | 理事   | 水鳥 寿思              |
| 理事   | 村井 満               | 理事   | 八木 由里              |
| 理事   | 渡邊 守成              |      |                    |

監事総数 3名

出席監事 3名

|    |       |    |       |
|----|-------|----|-------|
| 監事 | 工藤 陽子 | 監事 | 寺田 昌弘 |
| 監事 | 塗師 純子 |    |       |

4 議事の経過の要領及びその結果

定刻三屋副会長が開会を宣し、本理事会は定款第30条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げたのち、理事職務権限規程第4条「副会長は会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、あらかじめ理事会が定める順位に従い、その職務を代行する。」との規定に基づく決議により、三屋副会長が会長職の代行を務めること、及び、定款第29条第2項及び第3項「会長に事故あるとき、又は欠けたときは、会長があらかじめ指名した理事が理事会を招集し、議長を務める」との規定に基づき、三屋副会長が本理事会の議長を務めることを報告した。

会議開始前に、三屋副会長より、第24回オリンピック冬季競技大会(2022/北京)スケート競技

フィギュアスケート団体に出場した宇野昌磨氏へ銀メダルの授与を行った。また、会議冒頭で渡辺理事より IOC 会長選挙へ立候補することが表明された。

## 5 議案

### (1)役員等賠償責任保険について

- ・一般法人法の一部改正に伴い令和3年3月1日以降、役員等賠償責任保険の内容を決定するには、理事会の決議が必要となった。
- ・保険期間は、令和6年9月18日から令和7年9月18日までの1年間とし、被保険者は、本会、評議員、理事、監事、となり、補償内容は法人及び役員等に関する補償となる。引受保険会社は東京海上日動火災保険株式会社。

#### 【決議内容】

- ・加入する役員等賠償責任保険の補償内容

### (2) FISU 冬季ワールドユニバーシティゲームズ (2025/トリノ) TEAM JAPAN の編成数について

- ・1月13日から23日の11日間、イタリア/トリノで FISU 冬季ワールドユニバーシティゲームズが8競技80種目で実施される。
- ・スキー/ジャンプ・ノルディック複合とスケート/スピードスケートは実施されないが、新たにスキーオリエンテーリング競技、スキーマウンテンアリング競技、パラスキー競技が実施される。第20回オリンピック冬季競技大会(2006/トリノ)の競技会場が多く使用され、4地域に分かれる。
- ・TEAM JAPAN 編成数について、選手106名、役員65名、計171名にて編成する。

#### 【決議内容】

- ・TEAM JAPAN 編成数 選手106名、役員75名、計171名

## 6 報告事項

### (1) 第33回オリンピック競技大会 (2024/パリ) 関係について

#### 1)大会概要

7月26日から8月11日まで開催された第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)は204の国・地域及び難民選手団並びに中立選手団が参加した。TEAM JAPANは、選手数409名、役員335名、計744名で編成し、金メダル20、銀メダル12、銅メダル13計45、入賞数115と国外で開催された大会ではメダル数、入賞数ともに過去最高の成績であった。また、金メダル数では、アメリカ、中国に次ぐ3位となった。

TEAM JAPAN の編成について、今回は総監督に代わり3名の副団長を配置。主将はおかず IOC のルールに基づき男女2名(江村美咲選手、半井重幸選手)を旗手とし、閉会式では先に帰国した江村選手に代わり北口榛花選手が旗手を務めた。また、TEAM JAPAN 本部に、セーフガーディングオフィサー1名、ウェルフェアオフィサー3名を配置した。コンセプトは、「一歩、踏み出す勇気を。」とし、更なる高みを目指した。

選手村では、TEAM JAPAN 宿泊棟にカフェを設置し、交流の場とし、デコレーションを行うことで一体感の醸成に努めた。

TEAM JAPAN の情報共有には、LINE の機能を活用し、情報発信やNFからの情報提出、会議室などの提供サービスの予約機能を提供した。

JSC と協同し、設置したハイパフォーマンスサポートセンター(HPSC)では、専用トレーニング用スペースやサウナを含むコンディション、情報分析、食事、ランドリーなどを提供した

#### 2)国際関係概要

7月25日から8月11日の期間、従来のホスピタリティや広報・記者会見機能に加え、TEAM JAPAN 活動発信や関係スポーツ団体と連携した東京2020大会レガシー等の展示と新たな試み

を加えた TEAM JAPAN HOUSE を設置した。延べ 18,123 名(海外 7 割、邦人 3 割)が訪れた。

7 月 28 日のレセプションから、館内にてプライドハウス東京との共同会見、文化庁・スポーツ庁と協同したトークイベント、IOC 関係者とのメディア向けラウンドテーブル等のイベントも開催した。

各 NOC とのパートナーシップ協定では、サウジアラビア・韓国・オーストラリア NOC と調印した。

### 3)TEAM JAPAN ゴールドパートナー招待ツアー

パリ 2024 大会期間中、現地にて、ゴールドパートナー各社に TEAM JAPAN のパフォーマンス及び活躍を実際の競技会場でご覧いただくとともに、開催地の雰囲気を実感していただく機会を提供するための招待ツアーを企画した。

ツアーでは、競技観戦の他、選手村、国際放送センター及び TEAM JAPAN HOUSE の訪問を行うとともに選手団本部役員や本会役員との懇親会も行った。

権利として付与しているこのツアーは、参加されたパートナー各社の満足度も高い。ミラノ・コルティナ 2026 冬季大会、LA2028 大会でも実施していく予定。

### 4)パートナーアクティベーションと連携施策

パリ 2024 大会期間中には、国内においても都内を中心にパートナーのイベントやブース出展、TVer(ティーバー)等で流れた CM、ウェブサイトや SNS 等を通じて発信されたデジタル施策、全国のスーパーやドラッグストアなどの流通を通して展開された消費者キャンペーンなどが行われた。

### 5)大会期間中の広報発信

パリ 2024 大会期間中の広報展開について、大会期間中のメディアとのやり取りを一元化し、各チームの負担を減らすこと、TEAM JAPAN のコンセプトに基づき取り組みを直接的・間接的に発信することを目的として、プレスオペレーション、コミュニケーション・広報発信に整理し、活動した。プレスオペレーションでは、空港到着時対応、ミックスゾーン対応、テレビまわり、TEAM JAPAN 本部記者会見、メダリスト記者会見、MPC での各社問合せ対応の 6 項目、コミュニケーション・広報発信では、SNS 発信、キャンペーン施策、能登半島支援、輪島塗タンブラーの設置の 4 項目を実施した。特に SNS に関しては、3 億 2 千万回の閲覧(東京 2020 大会時の 1.5 倍)を記録した。単なる取材対応や記者会見の実施だけでなく、アスリートの魅力、スポーツやオリンピックの素晴らしさを伝えるための取り組みを実施した。

## (2) 国際総合競技大会関係について

### 第 6 回アジアインドア&マーシャルアーツゲームズ(2021/バンコク)大会中止

11 月 21 日から 30 日までバンコク・チョンブリ/タイで開催予定であった第 6 回アジアインドア&マーシャルアーツゲームズについて、8 月 19 日に OCA より中止の連絡があった。参加準備してきた選手・役員に対して、その舞台がなくなってしまったことに必要なサポート・フォローを行っていく。

## (3)JOC アスリート委員会選挙について

9 月 5 日にアスリート委員会選出委員選挙規程第 7 条に基づき、夏季大会選挙区選出委員選挙の告示を行った。今回の選挙は、選出委員定数総数 8 名のうち夏季大会選挙区 6 名を選出する。選挙権はパリ 2024 大会 TEAM JAPAN として認定されたアスリート、被選挙権は東京 2020 大会、パリ 2024 大会に TEAM JAPAN に認定され、投票期間最終日(2024 年 12 月 13 日)時点で満 18 歳以上の者とする。選挙権を有する者 1 名につき 2 票を異なる競技団体の立候補者へオンラインシステムにより投票することとした。また、過去の実績により、立候補期間を約 40 日間、投票期間を 1 カ月設け、多くのアスリートに関心を持ってもらえるよう期間を長くした。立

候補届出書について、これまで、公約・抱負は200字程度としていたが、立候補者の考えや思いをより記載しやすくするため、上限400字程度とした。

#### (4)国際委員会関係について

##### 1)オリンピック・ムーブメント推進のための国際大会開催に向けた検討会議

2月9日に開催された令和5年度第7回理事会において、北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会招致活動の停止を決議し、3月21日に開催された令和5年度第8回理事会において、JOCとして将来に向けた大会開催に関する整理・検討を行うこととし、準備会議を設置し、3回の会議を行った。準備会議では、今後の進め方や検討内容、事例調査の方針、メンバー等について意見交換を行い、過去・現状の整理と将来に向けた議論を行うことを確認した。検討会議は、その名称を「オリンピック・ムーブメント推進のための国際大会開催に向けた検討会議」とする。来年5月を目途に、10月より計4回の会議を重ねて、取りまとめを行う。また、アーバンスポーツ等、若い世代をターゲットにしたイベントについても、本会議にサブプロジェクトを設けて、情報収集から実施していく。理事会にて中間報告を行い、最終的なまとめを提示していく。

##### 2)第142次IOC総会概要

7月23日、24日及び8月10日に、パリにおいて第142次IOC総会が開催された。オリンピック開催都市では、2030年に開催される第26回オリンピック冬季競技大会の開催地に条件付きでアルプス/フランス、2034年に開催される第27回オリンピック冬季競技大会の開催都市にソルトレークシティ/アメリカが、また、2025年に開催される第1回オリンピックeスポーツゲームズの開催地にサウジアラビアがそれぞれ決定した。オリンピック憲章については、年齢制限を延長できる人数の変更、資格停止の委員の記載方法、競技団体名の更新などが変更された。IOC委員では、現副会長2名(コーツ氏・ウン氏)が退任し、新副会長2名(ムタワケル氏、ウェルティン氏)が就任。理事2名(再任ミカエラ氏、新任リンウェイ氏)が就任した。また、新たに8名のIOC委員が承認(2025年1月1日より)され、IOC委員は111名となった。IOC総会閉会に際し、バッハ会長が、任期満了をもって退任する意向を表明した。

##### 3)第44回OCA総会概要

9月8日にデリー/インドにて、第44回OCA総会が開催された。本会より、横井副会長、小谷常務理事が参加するとともに竹田名誉委員(OCA副会長)が出席した。

2024-2028年4年任期の新体制を決定するOCA理事会の選挙が行われ、会長、副会長、理事が決定した。選挙後の新理事会で、新会長から推薦された、各常任委員会の委員長等が承認され、総会で発表された。新会長は、インドのラジャ・ランディ・シン現OCA会長代行が選ばれた。JOCからは、小谷常務理事が東アジア地域選出の理事として選出され、竹田名誉委員が、継続して愛知名古屋アジア大会担当副会長として承認された。

#### (5) 第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)大会進捗状況について

9月8日に開催された第44回OCA総会にて大会準備状況を報告した。80%以上のAFが現地視察を終え、種別・種目の決定、競技会場の承認、テクニカルデレゲーツの任命について協議している。開閉会式及び陸上競技会場である名古屋市瑞穂公園陸上競技場は2026年3月に完成予定。ブレイキン競技、柔道競技、レスリング競技の会場となる愛知国際アリーナは2025年7月に完成予定である。また、7月には大会マスコットの名称がホノホンと決定した。9月19日、20日に第2回調整委員会が開催される。。また、大会1年前となる2025年9月に選手団長セミナーを開催し、大会関係情報や手続き等の説明を行う。

#### 7 その他

第5回理事会(臨時)は11月26日(火)15時00分から開催すると報告。

以上